

塾からのお知らせ 2026年3月15日

今年も、塾生から嬉しい便りが届き始めました。受験生の皆さん、お疲れさまでした。

●2026 年度大学合格状況☆3/12 現在 (グループ全体)

岩手大学理工学部、山形大学人文社会学部グローバルスタディーズコース、静岡大学工学部、秋田県立大学生物資学部生物化学科、青森公立大学経営学部、航空保安大学、拓殖大学政治経済学部、富士大学経済学部、千葉工業大学創造工学部建築学科、順天堂大学医療看護学部、岩手保険医療大学、弘前学院大学看護学部、米沢女子短期大学英文学科、日本赤十字秋田看護学校



●2025 年度の英検合格結果☆ (グループ全体)

準1級 1名 2級 5名 準2級 14名 3級 20名 4級 8名 5級 4名

おめでとうございます！

●春 期 講 習

3月中旬より春期講習を始めます。一年間の学習のおさらいや理科や社会の復習をします。詳細は春期講習の案内をご覧ください。

●2026 年度カレンダー

2026 年度のカレンダーができました。色が濃くなっている日はお休みです。祝日がお休みでない場合がありますので、お間違えのないようお願いいたします。慶弔事等で突発的にお休みの変更をお願いする場合があります。どうぞよろしくお願いいたします。

以下のリンクからも確認来ます。

<https://nakamuragijyuku.jp/index.php/2026/03/16/a-23/>

●維持教材費のお知らせ

4 月分の月謝に来年度の年間維持費、教材費が加算されます。口座振替の方は、3 月30日の引き落としの際に下記の金額が加算されます。月謝袋の方は4 月分の月謝納入時に維持・教材費を併せて納めて頂きますよう、よろしくお願いいたします。なお、先日ご案内いたしましたように4 月より月謝も各コース段階的に改定してまいります。併せてよろしくお願いいたします。

小学生

- ・子ども英語コース 6000 円(週 1 回)

・算国コース 6000円(週1回)

中学生、高校生

2教科 12000円 1教科 6000円

※教科数を増やす場合、1教科につき3000円ずつ加算されます。



●3/28・29、4/18・19 春の無料体験入学会

3/28(土)、3/29(日)、4/18(土)、4/19(日)に英会話、学習塾の無料体験入学会を行います。お知り合いで「外国人講師の英会話に興味がある」「勉強のやり方が分からない」「集団塾が合わなかった」というお子さんがいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ幸いです。

これまで入塾された生徒さんの多くが、保護者の方からのご紹介です。

●2026年度、春の広告

2026年度の春の広告です。成績状況等を載せています。ご覧ください。

以下のリンクよりご覧ください

<https://nakamuragijyuku.jp/index.php/2026/03/12/a-22/>



●クラス報告と今年度の目標

当塾では、一律のカリキュラムを進めるのではなく、一人ひとりの理解度や目標に合わせて学習内容を調整しながら指導しています。

それぞれの生徒に合った学習方法で、無理なく着実に学力を伸ばしていくことを大切にしています。

○小学生

小学生は、各自の理解度に合わせた内容で学習を進めています。

算数では計算演習を中心にしながら、各自の苦手な単元の強化にも取り組んでいます。

国語では文章を正しく読み取る力を身につけるため、読解力の養成を行っています。

中学校や高校に進学したときに困らないよう、小学生のうちしっかりと基礎力を身につけることを目標にしています。

○中学生

英語・数学ともに、できれば学校より少し先の内容まで学習を進め、早めにテスト対策に入ることを目標にしています。

英語については、今年度は教科書内容の理解に時間を使うことが多く、テスト対策に入る時期がやや遅くなりました。できれば、教科書内容の学習を早めに終え、テスト対策に時間を使いたいと考えています。

そのため、教科書の音読や本文の書き写しは、できるだけ家庭で行ってきてください。

そうすることで、塾では分からない部分の解説や問題演習を中心に進めることができます。

また、単語練習は自学ノートを活用して繰り返し練習するのもおすすめです。

数学では、まず計算力を確実に身につけることが大切です。

分数の通分、正負の計算、文字式、方程式などは、どの問題でもすぐに解ける状態を目標にしています。また、図形の面積や体積などの求積問題では、公式を覚えるだけでなく、考え方を理解することが重要です。そのほかにも、

- ・証明問題では合同条件
- ・比例・反比例や一次関数の式
- ・確率では樹形図を使った解き方

などの基本事項をしっかり身につけていきます。

これらは塾でも指導していますが、同じ問題でも良いので自学ノートで復習すると理解がより定着します。

○高校生

高校生の学習目標は、苦手教科の成績を効率よく上げることです。

塾で勉強できる時間には限りがあります。そのため、短い時間で成果を出すには工夫が必要です。

その工夫とは、「これだけは押さえる」という頻出事項に学習内容を絞り、同じ問題を繰り返し解くことです。

英語では基本的な英文法、数学では教科書の練習問題を中心に演習を行います。

苦手教科に向き合うことは簡単ではありません。しかし、一緒に学習計画を立てながら、少しずつ取り組んでいきましょう。

高校生は何かと忙しい時期でもあります。だからこそ、集中するときは集中し、休憩するときは休憩する。このようなメリハリのある学習習慣を身につけることが大切です。大学入試では、全国の高校生と競うことになります。塾では、効率よく基本事項を身につけられるよう指導していきます。

●英検コーナー

○ 2026 年度第 1 回英検（本会場）

申込期間 3/23 (月) ~ 5/7 (木) ※ネット申し込み

(1 次試験) 5/31 (日)

(2 次試験) 7/6 (日) or 7/12 (日)

※準会場の締切・日程は異なります。各学校の担当の先生にお問い合わせをしてください。



○英検サポートします！

イトトンでは長年にわたり英検対策のお手伝いさせていただいています。英検にチャレンジするメリットは、英語を学ぶスピードが上がるということです。根気よく勉強を続ければ、小学生で準2級、中学校で2級、高校で準1級に合格することもできます。また英検のために勉強することは高校入試や大学入試で必ず役に立ちます。さらに、自分の意見を理論立てて書く又は話す方法も学べます。これは今の高校・大学入試に必要な技術です。ほとんどの入試では英語力が試されます。上を目指す人は是非英検に挑戦してください。

●こども英語 課題とこれからの目標

今年度、各クラスで気づいたいくつかの発音や文法的問題点を紹介してみたいと思います。そして来年度はこれらの改善に努めていきます。もしご家庭でもこれらの点を練習していただけたら幸いです。

★ピンククラス

このクラスで遊びと勉強の良いバランスを見つけることは、特に子供の集中力が続かない場合には難しいことがあります。私たちは、授業内容に生徒たちが興味を持ち続けられるように、より多くの歌やインタラクティブな要素を授業に取り入れるようにしていきます。(もしご希望であれば、歌のリストをご提供いたします)

★ホワイトクラス

このクラスでは、数字を覚えるのに苦労している生徒を目にします。特に見た目や音が似ている数字、例えば12と20、16と60、そして特に13、14、15など、多くの生徒が苦戦するポイントです。また多くの生徒は7と9もよく間違えます。

★イエロークラス

このクラスでは、小文字のアルファベットに自信がないことに加えて、MとWの区別に苦労している生徒たちがいます。また、“Can you do it?”のような質問に、“Yes, we can!”と、適切な形式で答えられるようになることも新年度の目標の一つです。

★オレンジクラス

このクラスの課題は、複数形と適切な動詞の活用です。“5 chairs” や “like cats” のように複数形の “s” を覚えること、そして “I am hungry, but she is not, and neither are they.” のような動詞の変化を覚えることです。

★ブルークラス

もちろん語彙は常に優先事項ですが、新年度は日本語の「誰が(主語)何を(目的語)する(動詞)」から、英語の<誰が(S)する(V)何を(O)>いわゆる第3文型の感覚を覚えることに焦点を置きます。

Pat

Everyday English

今回ネイティブスピーカーが日常使うフレーズで、クラスではあまり使わないものをご紹介します。それは “I'm on the fence about...” または “I'm sitting on the fence about...” です。これらのフレーズは、行動の方針や、物事・現象に関して決めかねていることを表現したいときに使います。例えば、“I'm on the fence about this book.” 「私はその本が好きかどうかわからない。」、“He's still on the fence what restaurant to choose.” 「どのレストランが自分の目的にあっているのか彼にはわからない。」という意味です。また、いつも自分の意見や立場を決めかねている人のことを “fence sitter” “どっちつかずな人” と呼びます。さらに、A: “Would you like to go to Tokyo Disney Land or Tokyo Disney sea?” 「東京ディズニーランド行きたい?それとも東京ディズニーシーに行く?」 B: “I'm on the fence.” 「(う〜ん)迷ってる、、、」といった具合に、決断できないので時間が欲しい時や決めるのを手伝って欲しい時の返答としても使えます。

Pat

"On the fence"

Not able to decide on something.



In conversation:

"I'm on the fence about going to the party. It sounds fun but I have so much work to do."